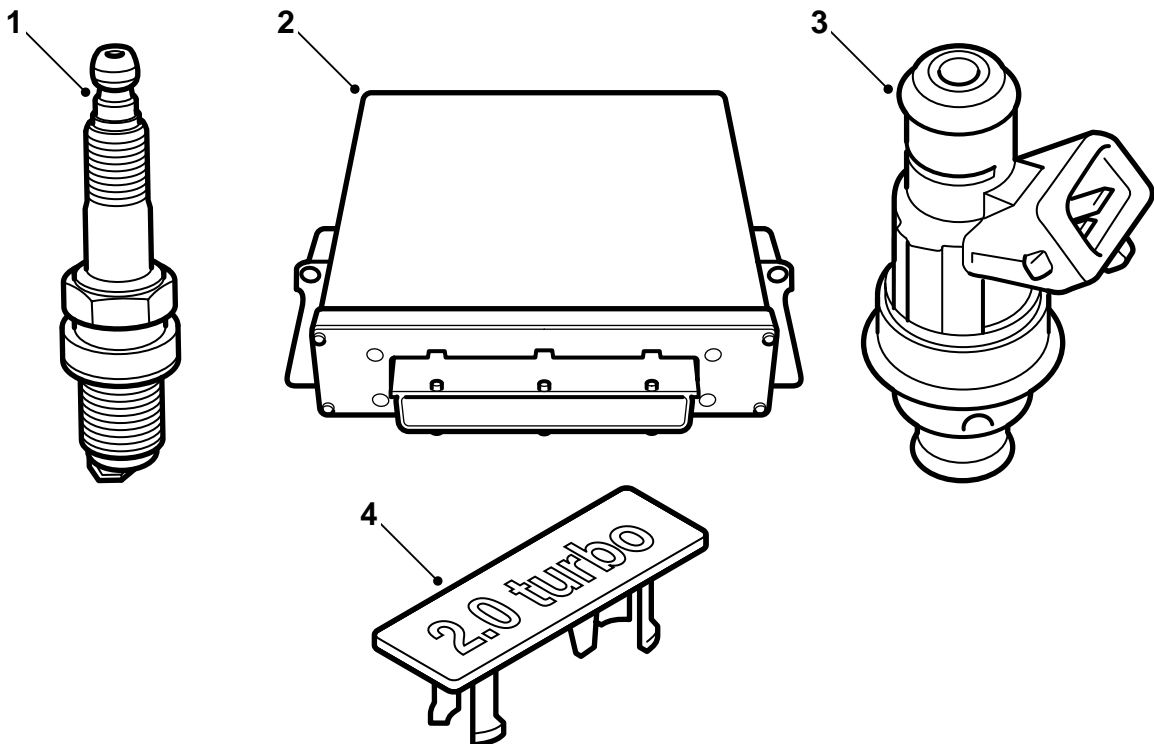


**SAAB****MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE**

Saab 9-5 B205E

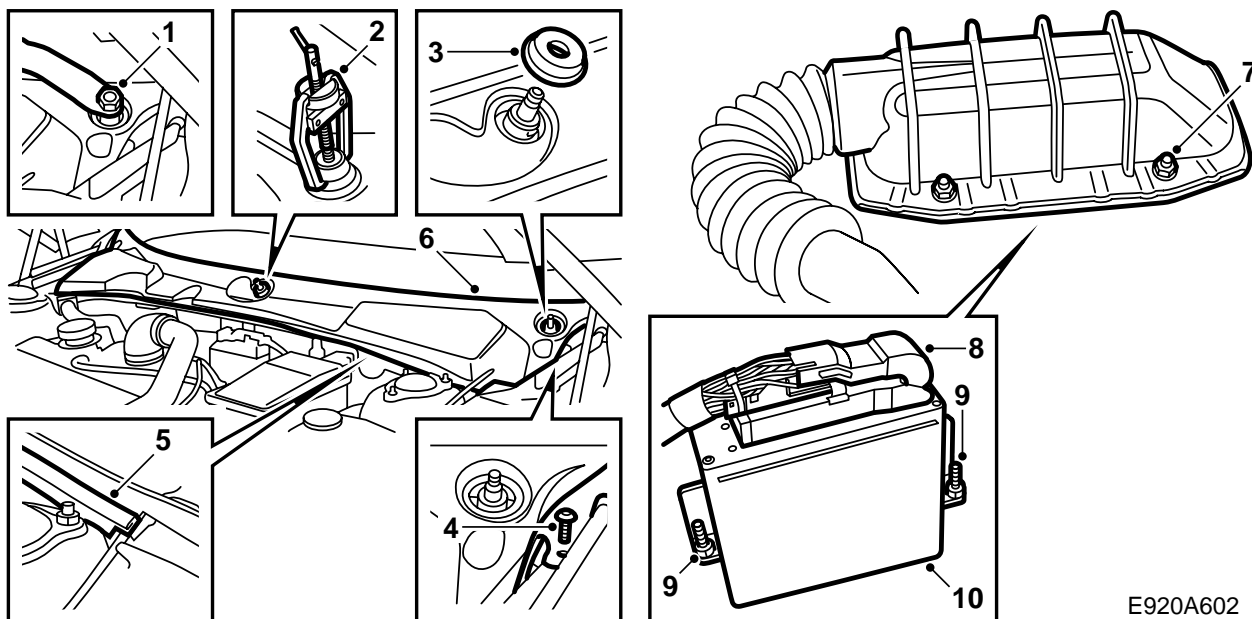
トリミングキット

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
400 127 296	9:29-02	Jan 00	51 74 263	51 74 263 Jul 99



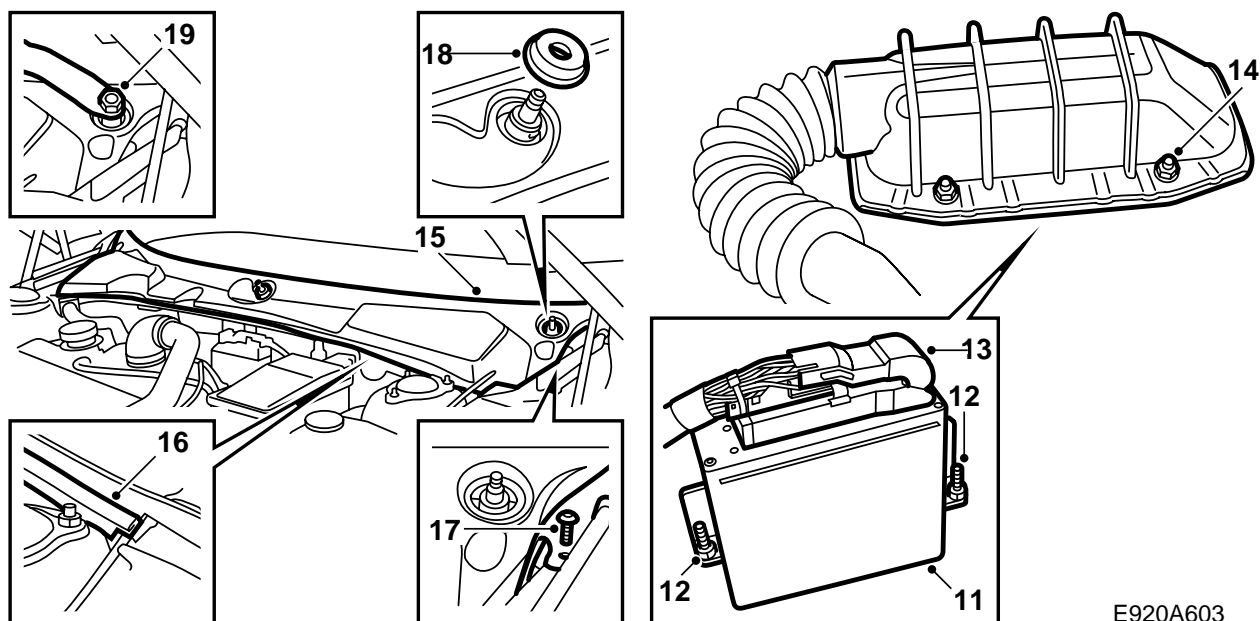
E920A011

- 1 点火プラグ (4個)
- 2 制御モジュール
- 3 インジェクター (4個)
- 4 エンブレム



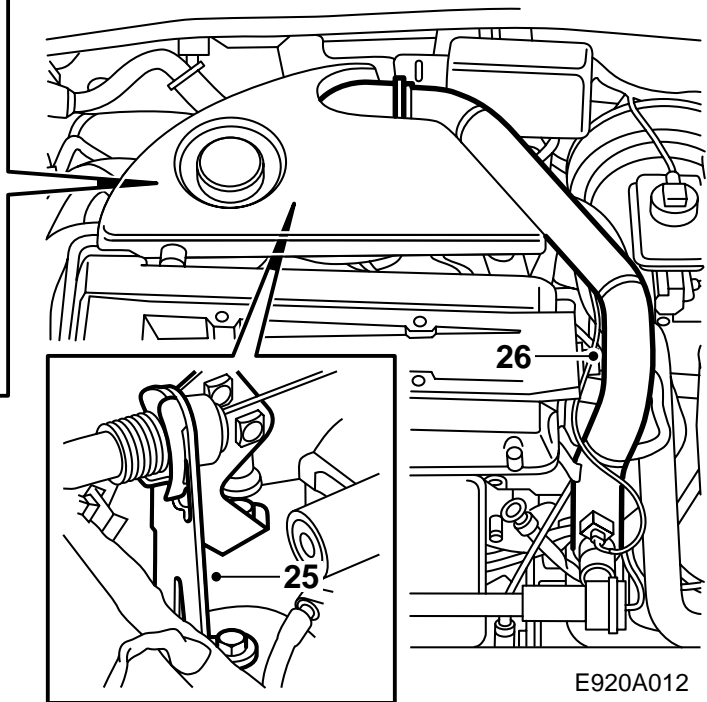
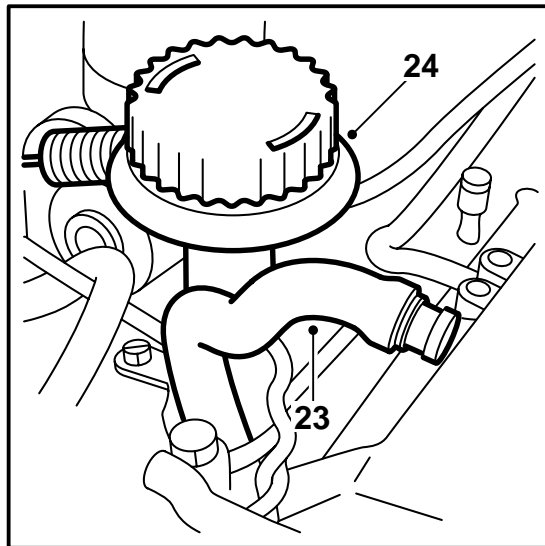
E920A602

- 1 各ワイパーピボットシャフトのナットを覆っているカバープレートを除去し、各ナットを少々緩める。
- 2 プーラー 85 80 144 を使い、ワイパーアームを外す。各ナットおよび各ワイパーアームを取り除く。
- 3 各ワイパーピボットシャフトのゴムシールを取り除く。
- 4 ウィンドシールド部カバーパネルの短辺サイドにあるスクリュークリップ 2 個を取り除く。
- 5 ゴムシールを外す。
- 6 フロントエッジを握り、上方 / 前方へ持ち上げるによりウィンドシールド部カバーパネルを取り除く。左側にあるボンネットリリースケーブルのグロメットに留意すること。
- 7 制御モジュールの保護カバーを保持しているナット 4 個を外す。
- 8 保護カバーを上折り曲げ、ラッチを右に起すことにより、制御モジュールのコネクターハウジングを外す。
- 9 制御モジュールの取付ナット 2 個を外す。10 mm のマグネットソケットを使用するとよい。
- 10 制御モジュールを真っ直ぐ上へ持ち上げる。



E920A603

- 11 新しい制御モジュールをはめ込む。
- 12 制御モジュールの取付ナット 2 個をしっかりと締め付ける。
- 13 制御モジュールのマルチコネクターに Kontakt 61 (パーツ番号 30 21 763) をスプリーして接続し、ラッチを下に倒すことによりロックする。
- 14 保護カバーを取り付け、カバーを保持するナット 4 個をしっかりと締め付ける。
- 15 ウインドシールド部カバーパネルをはめ込む。左側にあるボンネットリリースケーブルのグロメットに留意すること。
- 16 ゴムシールを取り付ける。
- 17 ウインドシールド部カバーパネルの短辺サイドにスクリークリップ 2 個を取り付ける。
- 18 各ワイパーピボットシャフトのゴムシールを元通りセットする。
- 19 ワイパーアームを取り付け、ウインドシールドにある各ドットマークに従って適正な休止位置にアームを調整し、各ナットをしっかりと締め付ける。
- 20 各ワイパーピボットシャフトのナットを覆うカバープレートを元通りセットする。



E920A012

⚠ 警告

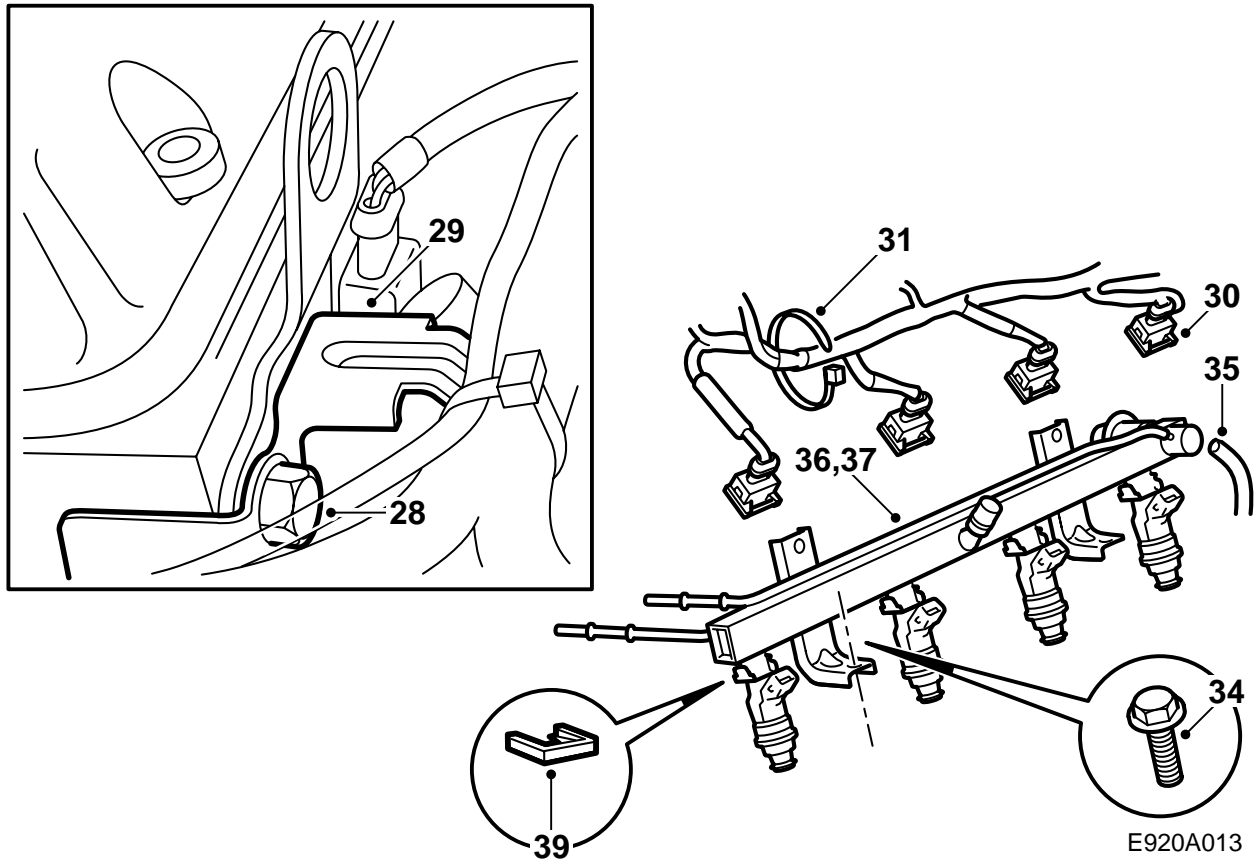
燃料配分パイプ取り外し作業は、車の燃料装置に手を入れることを意味する。従って、処置に伴い以下の点に留意する必要がある。

- 換気を十分に行うこと！ 燃料蒸発ガスの吸出し用として認定された換気装置があればそれを使用する必要がある。
- 保護手袋を使用すること！ 燃料に長期間接触していると、皮膚障害の原因となることがある。
- 粉末（ABC）消火器を手元に用意しておくこと！ 電流回路を遮断したり、短絡などに伴って、火花生成の危険性があることに気を付けること。
- 喫煙は、絶対に厳禁である。
- ゴーグルを着用すること。

重要事項

燃料配分パイプおよびインジェクターを取り扱う作業の際は、清潔さに最大限の注意を払うなければならない。各インジェクター、燃料配分パイプ、インレットパイプは、きれいに洗浄し、圧縮空気できれいに吹き払う。

- 21 オイルフィルターのところから開始してスナップオンファスナーを一つずつ外していくことにより、エンジンカバーを取り外す。
- 22 エンジンを動かした状態でフューエルポンプのヒューズ 19 番を引きぬく。エンジンが停止したらイグニッションを切る。
- 23 クランクケースベンチレータ用のホースを外す。
- 24 フィラーファンネルと共にオイルレベルゲージを取り除き、パイプに栓を施す。
- 25 スロットルバルブを覆っているカバーを取り外す。スロットルスピンドルからスロットルケーブルを外す。ホルダー付きスロットルケーブルを取り外し、邪魔にならないように除けておく。
- 26 シリンダーヘッドのターボチャージャーデリバリーパイプ取付ネジを緩める。
- 27 ターボチャージャーデリバリーパイプを取り除く。



- 28 ケーブルホルダーの上部ネジと前部ネジを緩め、後部ネジを完全に外す。
- 29 ケーブルホルダーを持ち上げ後方へ折り曲げる。
- 30 次のコネクタを外す： 点火ディスチャージモジュール、インジェクター、絶対圧力センサーインレット、エアフローセンサー、ターボプレッシャーセンサー。
- 31 ケーブルを外し、邪魔にならないように除けておく。レール上のクリップ 2 個とクランクケースベンチレータパイプ上のクリップ 6 個。
- 32 各フューエルラインを分離する。

- 39 インジェクターの取付クリップを引っ張って外す。

⚠ 警告

燃料配分パイプ内には燃料が残存している。

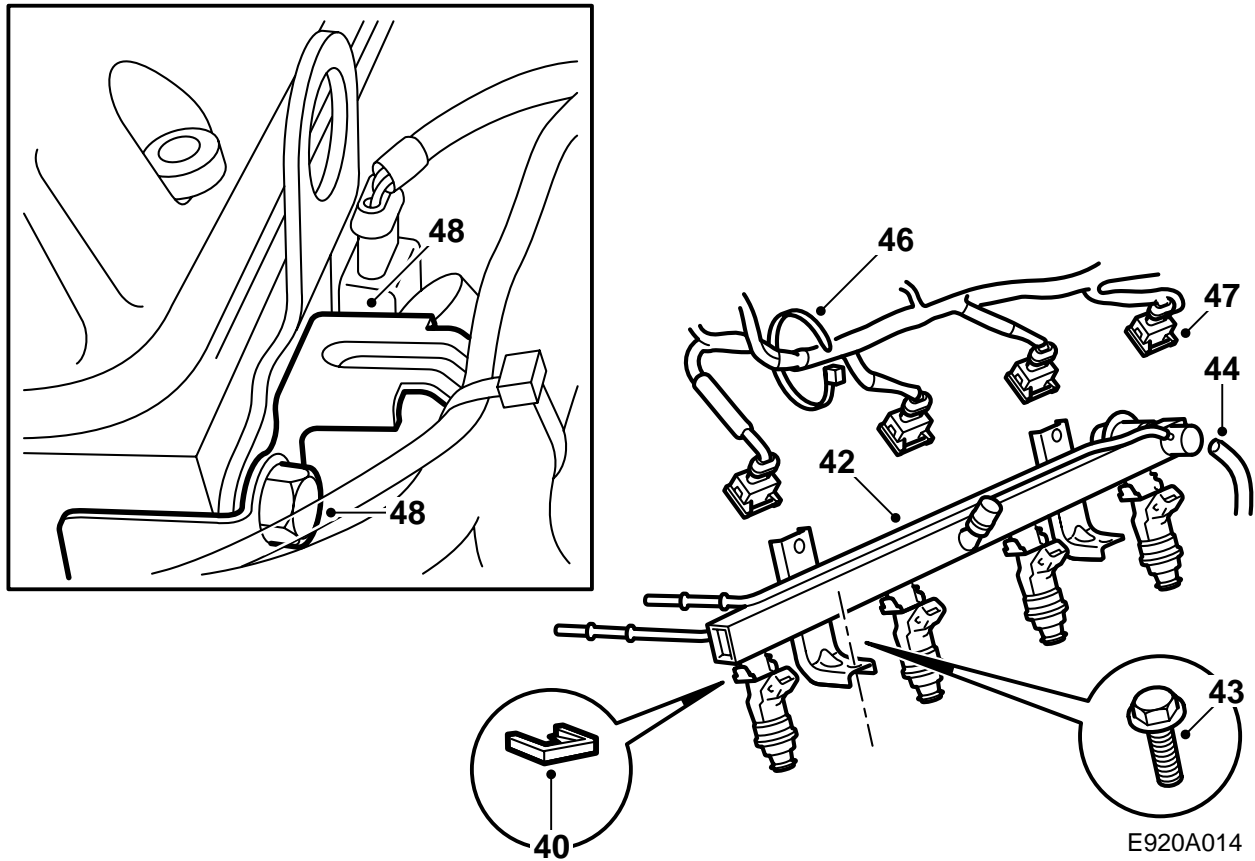
各インジェクターを取り外す

⚠ 警告

各フューエルライン内には燃料が残存している。

分離用工具 83 95 261 を使用する。

- 33 圧縮空気を使い各インジェクター周囲をきれいに吹き払う。
- 34 燃料配分パイプの取付ネジ 2 本を外す。
- 35 プレッシャーレギュレーターのバキュームホースを外す。
- 36 プライバー等を 2 本使い、燃料配分パイプを慎重にこじって外す。
- 37 燃料配分パイプを慎重に持ち上げて取り除く。
- 38 シリンダーヘッドの噴孔に栓を施す。



40 新しいインジェクターを取り付ける。

重要事項

取り付けを行う前に、各インジェクターのOリングに無酸ワセリンを塗布し、燃料配分パイプ内の底に達するまでインジェクターがきちんと押し込まれていることを確認する

インジェクターの取付クリップをしっかり押し込む。

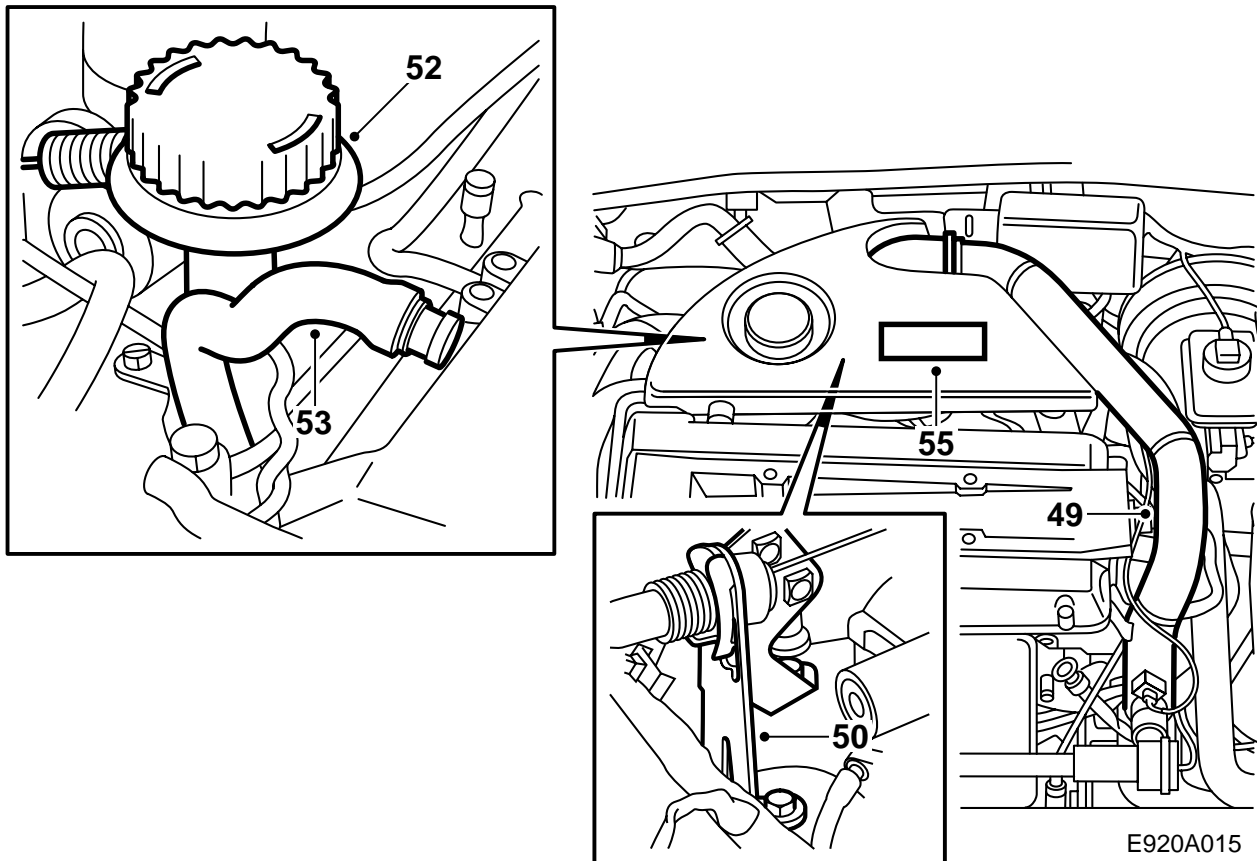
- 41 シリンダーヘッドの噴孔から栓を取り除く。
- 42 慎重に燃料配分パイプをはめ合わせる。
- 43 燃料配分パイプの取付ネジ2本をしっかり締め付ける。
- 44 プレッシャーレギュレーターのパキュームホースを接続する。
- 45 各フューエルラインを接続する。
- 46 ケーブルをセットし、クリップ2個を使い燃料配分パイプ上に、クリップ6個を使いクランクケースベンチレータ上に固定する。
- 47 各インジェクター、絶対圧力センサーインレット、エアフローメーター、ターボプレッシャーセンサーを接続する。

重要事項

接続を行う前に、コネクター全てにパーツ番号30 04 520のKontakt 61をスプレーする。

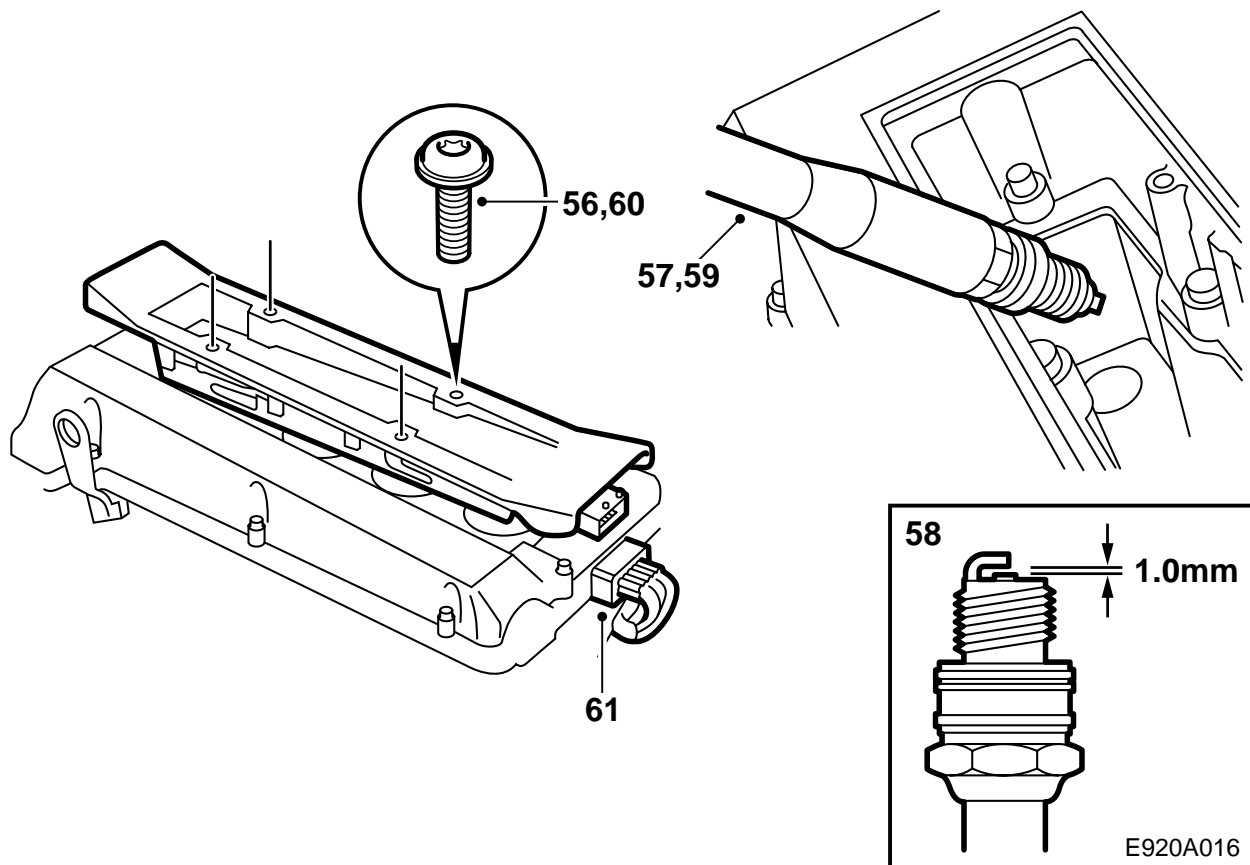
それぞれのコネクターが正しいインジェクターと接続されていることを確認する。ケーブル上にマーキングがある。

- 48 ケーブルホルダーをはめ込み、取付ネジをしっかり締め付ける。



E920A015

- 49 ターボチャージャーデリバリーパイプを取り付ける。
- 50 ホルダー付きスロットルケーブルをはめ込み、スロットルスピンドルにスロットルケーブルを取り付ける。スロットルバルブを覆うカバーを取り付ける。
- 51 スロットルケーブルを調整する。
- 52 フィラーファンネルと共にオイルレベルゲージを取り付ける。
- 53 クランクケースベンチレータ用のホースを接続する。
- 54 フューエルポンプのヒューズ19番を元通りセットする。
- 55 エンジンカバーからエンブレムを取り外し、新しいエンブレムを取り付ける。エンジンカバーを元通りセットする。



56 点火ディスチャージモジュールの取付ネジ 4 本を取り外す。

57 点火プラグを取り外す。

58 新しい点火プラグのスパークギャップを点検する。ギャップは 1.0-1.1 mm となっている必要がある。

59 新しい点火プラグのネジ山に Molykote 1000 (パーツ番号 30 20 271) またはそれに相当するものを塗布し、点火プラグを取り付ける。

締め付けトルク： 27 Nm (20 lbf ft)

60 点火ディスチャージモジュールの点火プラグ側接続部のゴムシールに Kryox (パーツ番号 30 19 312) を塗布し、点火ディスチャージモジュールを取り付ける。

締め付けトルク： 11 Nm (8 lbf ft)

61 点火ディスチャージモジュールのコネクターハウジングを接続する。

62 診断ツールを接続し、TWICE および「イモビライザー」を選択した後、「プログラミング」を選択することにより、TWICE 制御モジュールおよびメイン計器ユニットと共に制御モジュールの協調プログラミングを行う。

63 マーキングに従い点火プラグについてのテキストを切り取り、サービス手帳の 2 ページに貼り付ける。2 ページにテキストがあるのならば、テキストは 3 ページに貼り付けること。

重要事項

点火プラグ交換のサービス間隔は、20,000 km に変更。

64 **スウェーデン：** 取付説明書と一緒にある証明書に必要事項を記入し顧客に手渡す。

重要事項

車は、エンジン出力が変更されたため、登録検査を行わなければならない。

証明書は、登録検査時に持参しなければならない。

65 顧客に取付説明書および "TUNING KIT CERTIFICATE FOR SAAB 9-5" を手渡す。

重要事項

プログラミング実施後にエンジンマネジメントシステムに故障診断コードが存在する場合がある。これらは消去しておくこと。